

山北小学校  
山北小学校

# 山北っ子

児童一人一人が輝き、夢実現

R1. 5. 29  
第3号

文責 瀧上 佳宏

## 最後までベストをつくした運動会

五月二十六日（日）に、山北小大運動会を開催いたしました。本年度は練習期間も含め晴天に恵まれましたが、三十度を超える猛暑が続き、熱中症等の心配もしました。おかげさまで、百十五人全員が開会式から閉会式まで参加でき、大変嬉しく思っています。

子どもたちは、「最後までベストをつくす運動会」のスローガンを掲げ、連休明けから一生懸命取り組んできました。当日は小学校へ入学したばかりの一年生も含め、すべての学年の子どもたちが、一回り大きく成長した姿を見せてくれました。



半被姿もきまっている高学年の「よさこいソーラン」

特に、小学校最後の運動会となる六年生は、応援をリードしたり、団の絵を描いたり、演技の練習をしたりと、とても大変な日々をやり抜きました。また、赤団の優勝という結果でしたが、最終種目の高学年の紅白リレーの順位次第では逆転もあり得るという大熱戦で、白団

も大健闘でした。子どもたちはそれぞれが持っている自分らしさを十分発揮し、スローガンどおりベストをつくすことができた運動会となったことを校長は誇りに思っています。

ご来賓、ご家族・地域の皆様には、子どもたちに対して惜しみない声援をいただき、多くの笑顔を見られました。本校職員も含め、山北小運動場に集った人々の絆がさらに強まっていく様子を見て、改めて山北小の校長である幸せを噛みしめました。

保護者の皆様には、五月十八日（土）の除草作業から前日の準備、当日のお手伝い・後片付けまで、子どもたちが活躍する舞台をきれいに整えていただき、大変ありがとうございました。今後とも本校の教育活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 六月は「心のきずなを深める月間」

六月を県下全域でいじめの未然防止等に取組む月間（心のきずなを深める月間）に設定するようになって、今年で十三年目になり、本校でも全校集会等の取組を行います。

「いじめ」についての直近の報道では、いじめをしたとされる元県立高校生に賠償命令が下される判決がありました。「いじめ」は加害者が「そのくらいで」と考えてしまうよ



バンダナもかわいい低学年のダンス「マスカット」

うな行為でも、法的にはそのほとんどが「不法行為」に当たり、賠償責任が生じる可能性があることを示しています。

昨年度の学習発表会後に説明させていただいたとおり、本校では、平成三十年度に三十七件の「いじめ」を認知しております。これは、「いじめ防止対策推進法」第二条の「児童等が心身の苦痛を感じているもの」という定義に従い、些細と思われる事案であっても子供たちが「嫌だ」と感じた場合は、被害者の立場で丁寧に対応しているためです。

学校は、すべての子供たちにとって安全安心で、笑顔で過ごせる環境であってほしいと思います。ご家庭でも、何か嫌なことがあったら率直に担任等に話をするようお願いいたします。また、担任等にはお話しづらいた保護者の皆様のお気付き等がありましたら、管理職（校長又は教頭）へ遠慮無くご相談いただけますようお願いいたします。

## プールでの授業が始まります

五月三十一日（金）にプール掃除、六月五日（水）にプール開きを行い、その後、子どもたちが楽しみにしているプールでの授業が始まります。

授業は、水温、気温等に注意しながら行いますが、万が一の事故を防ぐためには、児童の健康状態の把握が極めて重要です。体調がすぐれない日は、ご家庭から担任へ必ず連絡いただきますようお願いいたします。

